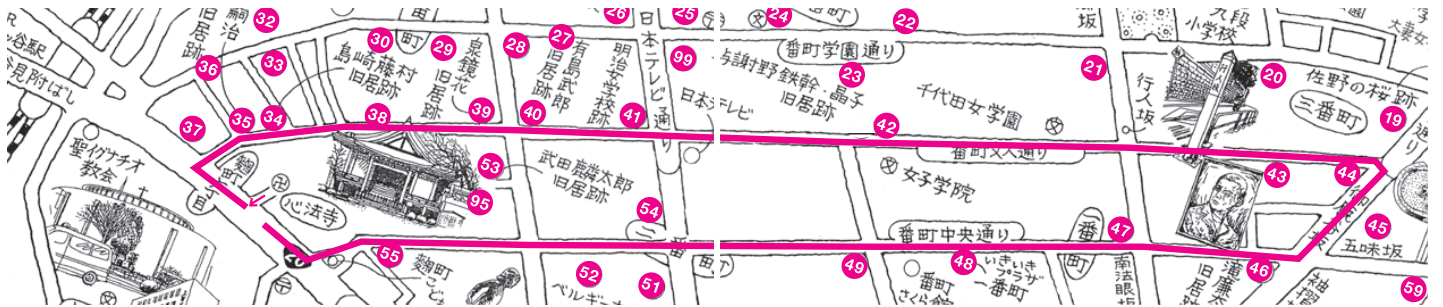


B 散歩道・Bコース
 <番町文人通り→番町中央通り>

ウォーキング・データ	距離:2.2km 2750歩(歩幅80cm) 所要時間:40分(ゆっくり歩いて)
------------	---

※かわいい人物紹介は、WEBサイト「麹町界隈がまち人物館」で!



有島寛

ス タートは心法寺から。江戸時代には広大な境内を誇り、現在も千代田区で唯一墓地をもつ古刹です。隣は、尾張藩付家老だった成瀬隼人正³⁷の上屋敷でした。この敷地の中にエコール・ド・パリで一世を風靡した洋画家の藤田嗣治³⁵、明治の文豪鳥崎藤村³⁴が隣り合わせに住んでいました。戦後は、初代中村吉右衛門³³³⁸が住み、しばらく行くと耽美派の小説家泉鏡花³⁹が、愛妻し

ずと暮らした長屋があった場所です。その向いには、有島武郎⁴⁰ら有島兄弟(有島生馬、里見淳)たちが住む広い屋敷がありました。武郎の没後は、菊池寛、直木三十五なども住んでいました。二番町側には、戦前プロレタリア文学の旗手武田麟太郎⁵³が、戦後は箏曲の中能鳥欣一も住んでいました。日本テレビ通りの手前角は、明治時代に先進的な女子教育で人気のあった明治女学校⁴¹がありました。ここでは、鳥崎藤村、北村透谷らの第1次「文学界」の同人たちが教師となって女学生たちを指導したのです。

日 本テレビ通りを突っ切り、しばらく往くと女子校の名門女子学院の校舎です。その向いあたりに与謝野晶子・鉄幹⁴²夫妻が住んでいました。ちょうど二人がそれぞれにヨーロッパへ遊学した時期でした。また、ここに移転する前には、東京ビジュアルアーツのある場所あたりにも住んでいたのです。仏教系の女学校である千代田女学園があり、さきに進んで哲学者でエッセイストの串田孫一⁴³が住んでいたのは、ホームマツ・カメラあたりです。戦後では、ご存じ「旗本退屈男」市川右太衛門、さらに実業家ながら陶芸などに独特の境地をもつ川喜田半泥子⁴⁴の屋敷などもありました。向いのローマ法王庁大使館の建物は、天皇家棟梁の家系に生れた設計家木子幸三郎の設計によるもの。



泉鏡花



有島武郎



与謝野晶子



瀧廉太郎

現在のいきいきプラザ一番町は、明治期の外務大臣青木周蔵⁴⁸の屋敷跡。その先は、明治の風刺画家ジョルジュ・ピゴアが住んでいた場所。坂の角のマンションは、かつては女性議員として名を馳せた加藤シヅエ⁴⁹が育った場所、その後、戦前からの名ソプラノ原信子の家でもありました。その隣は、かつてスイス公使館のあった場所。現在工事中の日本テレビの場所には、戦前、時代小説などで人気が高かった邦枝完二が住んでいました。邦枝の娘の木村梢は、この当時の話を『東京山の手昔がたり』に著しています。

七 ブンイレブンのある場所には、戦前から戦後にかけて邦楽界で活躍した3世杵屋栄蔵⁵⁴、さらにその隣には7世芳村伊十郎の家がありました。ベルギー大使館は、戦前首相を務めた加藤高明⁵²の屋敷跡で、それ以前は津田梅子が女子英学塾を設立する前に住んでいた場所でもあったのです。また現在の一番町で生れた武者小路実篤が、はじめて実家を出て世帯をもった場所⁹⁹も、その先角を右に曲ったあたりに。現在四谷メディカルキューブが建っている場所は、大倉財閥の総帥だった大倉喜七郎⁵⁵邸でした。そのすぐ裏手に建つマンションは、戦後の一時期8世松本幸四郎(初代中村白鶴)邸でした。2世白鶴・2世吉右衛門兄弟もここで育ったのです。



坂本善治